

保護者の皆様へ

# 柴崎保育園・民営化だより

令和元年 12 月 16 日 第 9 号

日増しに寒さが厳しくなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、柴崎保育園の民営化に向けて、柴崎保育園ホールにおいて令和元年 11 月 30 日（土）と 12 月 4 日（水）に第 4 回三者懇談会を開催いたしました。

今回の三者懇談会では、10 月から開始されています「引継ぎ保育」の実施状況について、子どもたちの保育園での様子や引き継ぎの状況の報告と、保護者の皆様からはご家庭での様子などをお話いただきました。その他、延長保育に関する事、引継ぎ保育に関わる保育士や、今後のスケジュールなどについてご説明いたしました。説明の概要は下記のとおりとなります。

## (1)引継ぎ保育の実施状況と子どもたちの様子について

### ・立川市保育課保育振興担当主幹より

10 月 1 日から引継ぎ保育が開始され、柴崎保育園では、若水会の皆さんが週 4 日程度の勤務を開始しています。初日には「はじめましての会」を開催し、若水会の皆さんの紹介や絵本の読み聞かせなど、なごやかな会となりました。引継ぎ保育では、最初は各クラスの保育の実施状況や環境整備の状況などを若水会の皆さんが見学し、質問や確認などを行い、現在の保育の状況把握を中心に行いました。11 月に入ってから、市役所で開催された保育のひろばや保育園の行事である会食会の手伝いを行い、ごっこ遊びの会などではそれぞれ役割を担っていただくなど、自然と子どもたちとの関わりができていくように進めてきました。今後は若水会の皆さんが実際に子どもたちの保育に入っていく、遊びの中などで子どもたちそれぞれの特徴を把握し、信頼を築いていく段階に入っていきます。早番や遅番にも入っていきますので、保護者の皆様とも顔を合わせた際には、ぜひお声がけをいただければと思います。引き続き丁寧に、子どもたちに負担がないように少しずつ進めていきますので、もしもご家庭で気になる様子などがありましたら、ご遠慮なく、保育園や市保育課にお話しいただければ幸いです。

### ・柴崎保育園園長より

若水会の皆さんには子どもたちと早く仲良くなりたいとの想いがあふれていたのですが、最初は見学から入ってもらいました。見学の後では柴崎保育園で行われている保育について様々な質問があり、市保育士としても普段行っている保育について改めて気づきや再確認できる点などがありました。子どもたちも、乳児では最初は固まってしまう子どもなどもいましたが、日が経つにつれ笑顔がみられ、慣れてきている様子が見えてきました。ごっこ遊びの会で役割を担っていただいた後は、幼児からも若水会の皆さんの顔を覚えてきた様子などが見えてきて、徐々にではありますが、子どもたちとの関係がつけられてきていることが感じられます。実際に保育に入っていく中では、お互いの保育についての考え方など、すり合わせたり確認することが増えてくることと思いますが、より良い保育ができるように今後とも進めていきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

#### ・若水会より

若水会職員が引継ぎ保育に入ってから2か月ほどが経ち、現在は徐々に保育に入りはじめています。最近では段々と子どもたちから声をかけてもらう機会も多くなってきましたので、これからはしっかりと顔を覚えてもらえるようにしたいと考えています。私たちの想いとしては、柴崎保育園の保育をしっかりと引き継ぎ、子どもたちや保護者の皆様にも早く信頼していただけるような関係づくりをしていきたいということが一番です。園長や主任保育士予定者は、主に柴崎保育園の運営に関することや事務的なこと、保育についての全体的な考え方を中心に引継ぎを行っており、その他、保育園の周辺の遊び場や安全面の確認、地図作りなどを行っています。若水会職員は、柴崎保育園の保育を見学した上で毎週レポートを作成し、柴崎保育園の保育の特徴などを職員同士で話し合い、法人内の他の園とも共有しています。柴崎保育園の保育をしっかりと引き継ぎ、私どもが行いたい保育とあわせ、より良い保育を行っていききたいと思います。

柴崎保育園の保育を引継ぐ中でとても素晴らしいと感じた中の一つとして、行事を行う際には、単にその行事を行うことだけに留まらず、事前の準備から子どもたちも関わっており、点ではなく線として子どもたちを楽しませようとの強い想いが感じられる、というところがありましたので、そこをしっかりと引き継いでいきたいと思っています。また引継ぎ保育を実施していく中で、市の保育士さんと若水会職員が話しながら笑いあっている姿を見て子どもが微笑んでいた姿が印象的でしたので、大人も子どもも安心できる環境を保護者の皆様も含めて作っていききたいと思います。

乳児クラス・幼児クラスそれぞれでは子どもたちとの保育に入りはじめ、市の保育士さんから子どもたちに紹介してもらい、少しずつ子どもたちとの関わりが増えてきていますので、これからも子どもたちが安心できるような関係づくりを進めていきたいと考えています。乳児の保育の中では、柴崎保育園では乳児であってもできることは自分でできるようにしよう、との考えがあることがとても良いと思いました。またごっこ遊びの会では、子どもたちと接する中で、それぞれの子どもたちの興味のあることや好きなことを具体的に感じることで、これからも距離を縮めていきたいと思いました。最初に見学をさせてもらったことで、異年齢保育のやり方を始め、今まで柴崎保育園で作上げてきた保育を見ることができ、様々な気づきを得ることができました。若水会が大事にしている保育とともに、来年4月からの柴崎保育園の運営に向けて、しっかりと引継ぎ保育をしていききたいと思います。

#### ・保護者より

○ごっこ遊びの会の時には若水会の保育士さんは自然に溶け込んでいて、スムーズに保育に入ってきていると感じています。

○柴崎保育園は、保育自体はもちろんのこと、送迎の時間などにも保育士等が保護者に声をかけてきてくれて、子どもも保護者も温かく迎えてくれる雰囲気などがとても良いと感じています。行事などについても、子どもたちを楽しませると同時に、保育士さん自身もとても楽しんでいる様子を感じられるのが素晴らしいと思っているので、そこは特に継続されることを希望します。

○今まではあまり若水会の皆さんの名前などは子どもから出てきていませんでしたが、今までは見学等が中心だったとのことなので、これから保育に入っていく中で話が出てくるのだと思います。

## (2)民営化後の保育について

#### ・若水会より

延長保育につきましては、第三回の三者懇談会及び民営化だよりでお知らせいたしましたとおり、実施時間は午後6時30分から7時30分までの1時間とし、延長保育料金の設定については、午後6時30分から午後7時00分までの料金は現在と変わらず、1回500円・月4回以上で2,000円とし、

午後7時00分から7時30分までは、1回750円・月4回以上で3,000円に決定したいと思います（午後6時30分から7時30分まで利用した場合、1回1,250円・月4回以上で5,000円）。また、延長保育時の補食につきましては、ご飯とみそ汁、パンとスープなど、軽食程度をご用意できるようにいたしますので、皆様よろしくお願ひいたします。

次に、引継ぎ保育に入っている保育士についてご説明いたします。引継ぎ保育を行う保育士の条件としては、令和2年4月1日現在で保育士として4年の経験が必要とされていますが、当初予定していた職員の中の1名が健康上の理由等により対応できなくなってしまったことで、民営化となる令和2年4月1日には保育士として8年の経験を持つ職員と同時に配置することを前提に、保育士としての経験が3年となる職員が引継ぎ保育に入っています。この職員は法人として保育に関する能力も問題ないと考えられ、また大変熱意をもって柴崎保育園の引継ぎ保育を行っており、4月以降に同時に配置される職員とともに、丁寧に柴崎保育園の保育を引き継ぎ、より良い保育を行ってまいりますので、事後のご報告になってまいりまして大変申し訳ございませんでしたが、今後ともお認めいただけますようよろしくお願ひいたします。

#### ・市保育課より

市保育課としましても、現在引継ぎ保育に入っている職員がしっかりと保育を引き継ぎ、4月から来る保育士と定期的に情報共有を行い、他の引継ぎ職員もサポートをするとの考えであること、また、現在すでに子どもたちとの関わりをつくり始めているところであることから、引継ぎ保育の保育士と認めたいと思いますのでよろしくお願ひいたします

※ 保護者の皆さんからは、延長保育については異議はありませんでしたので、上記の内容で決定したいと思います。また、引継ぎ保育に入る職員については、特に問題ないとの意見があり、また、経験年数だけでなく、実際に保育に入っている内容や既に始まっている子どもとの関係を重視したいと考えることから、現在の保育士が引継ぎ保育に入ることを認めても良いとの意見がありました。若水会からは、今回は直前だったこともあり事後報告になってまいりましたが、何かあったときには、事後の報告ではなく、できる限り早く保護者の皆さんや市に相談するようにしますとの話がありました。

### **(3)今後の三者懇談会等の開催予定について**

次回の三者懇談会につきましては令和2年1月18日（土）10時からと、1月24日（金）18時30分からの2回開催を予定しており、引継ぎ保育の状況や合同保育に向けてのお話しなどを中心に進めていきたいと考えています。平日もできる限り開催したいと考えていますが、日程は後日お知らせしたいと思います。それ以降は令和2年3月上旬に民営化最後の開催、また5月中か6月上旬には、合同保育に関する報告等を予定しております。

各懇談会の前にはこれまでと同様、各ご家庭に園を通じてご通知を差し上げますので、お忙しいところとは存じますが、皆様のご出席をお待ちしております。

以上

## 【三者懇談会における質問と回答】

・Q1. 延長保育の補食については、何時の提供になるのか。

・A1. 提供時間については夕食に影響のない時間にしたいと思いますが、18時30分前後には提供したいと考えています。

・Q2. 柴崎保育園の保育を見て、一番違いを感じたところはどんな点か。

・A2. 現在若水会では行っていない異年齢保育の実施方法や、子どもたちが自分で気づいて行動できるような動機付けの方法等が大変勉強になりました。

・Q3. 来年4月の民営化の際には、できる限り経験豊富な保育士を配置できるように考えているとのことであるが、保護者の立場としては既存園の保育園の方の運営に支障は出ないのかも気になる。

・A3. 既存の園については新規採用も決まっており、運営などについても引継ぎをしっかりと行っておりますので、職員が柴崎保育園に異動したあとも既存園が支障なく運営できるよう準備しています。また既存園の保護者からも新しい柴崎保育園の運営について激励の言葉などをいただいているところです。

・Q4. うちの子どもは普段は新しいことに慣れにくいのだが、最近になって若水会職員の名前が結構出てきて、関係づくりができ始めているのだなと感じている。保護者としては園長予定者、主任予定者とも早く関係づくりをしていきたいと思うので、これから保育室等で会えたら良いと思うので、よろしく願いしたい。

・A4. 若水会職員としても、できるだけ早く保護者の皆さんとも良い関係づくりをしたいと考えていますので、柴崎保育園の引継ぎの計画を進めながら、併せて保護者の皆さんと交流を持っていきたいと思っています。

・Q5. 延長保育や土曜日の保育に若水会職員は入るのか。

・A5. 来年1月には早番・遅番・土曜日の保育等、全ての保育に入る予定で進めています。

・Q6. 若水会との保育と柴崎保育園での保育の考え方について、教育方針や子どもの育て方、価値観等に大きな違いはあったか。民営化前後で変わってしまい、子どもが混乱したり不安になることが心配。

・A6. 公立・私立ともに認可保育所は、保育所保育指針に基づいて行うため、保育について大きな違いはありませんが、個々の具体的な保育方法等についてはこれからの引継ぎ保育の中でお互いに確認しあい、今の柴崎保育園が大事にしていることをしっかり引き継いでいきます。

・Q7. 給食などの時に、きれいなものがあっても全部食べなければならない、というようなことは絶対にしないでほしい。

・A7. きれいなものを無理やり食べさせることは絶対にいたしません。必要な栄養を取れるように配慮した上で、それぞれの子どもが食事を楽しくできるようにしていきます。

・Q8. 民営化になったときに保護者の費用負担が増えることは無いか。

・A8. 原則、保護者の費用負担が増えることはありません。もしも今後新たな負担をお願いする場合であっても、必ず保護者の皆さんに事前にご相談をして、同意をいただいた上でいたします。

・Q9. にじのいろ保育園を見学に行った際に離乳食を1対2で行っていたが、若水会では乳児の食事は必ず1対2で行うのか。

・A9. にじのいろ保育園では、月齢が低い時は1対1で食事を行います。月齢が上がったときには1対2で行う場合があります。柴崎保育園では基本的に現在の柴崎保育園のやり方を引き継ぎます。

**次回の三者懇談会は、令和2年1月18日(土)10時及び1月24日(金)**

**18時30分から柴崎保育園での開催を予定しています。**

民営化に関する問い合わせ

立川市子ども家庭部保育課

電話番号 042-523-2111 内線1320 FAX番号 042-528-4356

電子メール hoiku@city.tachikawa.lg.jp

民営化相談専用メール enkatuiko\_hoikusodan@city.tachikawa.lg.jp